

知識、技術を次世代へ伝承

人づくり、まちづくり寄与 コンサルOB中核に活動

NPO法人「温故創新の会」（理事長・清野茂次）オリエンタルコンサルタンツ相談役名誉会長は、今年度から活動を本格展開する。社会基盤整備分野を中心に、建設コンサルタンのOBが中核となり、自ら保有する知識、技術ノウハウを次世代に継承・助言・普及することなどを通じて、人づくり、まちづくり、環境保全などに寄与していく。

NPO温故創新の会



清野理事長

温故創新の会は、昨年8月に設立総会を開催、今年1月にNPO法人となった。5月には通常総会を開催して07年度事業計画などを承認、今年度から活動を本格展開する。現在、建設コンサルタンのOB26人が参加している。

取り組みの内容は、「道路」「土質および基礎」「橋梁・構造」「トンネル・地下空間」「品質・プロフェッション」の5つの部会を設置、各部会を通じて交通費、資

料代などの実費で様々なサービスを行う。

道路部会は、高速道路の計画・設計の基本として、線形計画およびコントロールポイント、パークングエリア併設のイン

ターチェンジ、広域幹線道路としての路線検討。道路の整備効果と必要性、道路建設のコスト削減、海外における調査・計画・施工管理の要点。

土質及び基礎部会では、土質調査計画のあり方で、土質技術者の立場や倫理観、土質調査計画の必要性と具体的な計画手法。土質調査の方法として、既往資料の収集と活用の方法、地形・地質と地域特性、土質調査の種類とチェックリスト、

環境対策上の調査方法（土壌汚染分析、振動測定等）。土質データの解釈と評価、管理、活用する方法で、土の分類と表現方法、土の物理的性質と力学的性質、柱状図の見方、電子データのデータベースとその有効活用。基礎の設計・施工法として、土質調査結果に基づいた設計・施工への提言。地盤の支持力と沈下の計算方法、地盤改良工法などに関する比較設計の方法、動態観測施工のあり方。

橋梁・構造部会では、構造物設計論（含む名神・東名時代の構造物設計の考え方）、道路、鉄道等の整備に必要な構造物の計画・設計・施工管理に関する技術、道路橋・鉄道橋の改修、架け替えの計画・設計、施工に関する技術、要素技術として、各種橋梁形式の特性と設計技術、橋梁景観検討、限界状態設計法に関する基本（含む歴史と現状）。

トンネル・地下空間部会は、都市問題と地球環境問題、都市交通と地下利用、安全・防災と地下利用、環境と地下空間利用、とくに都市景観との関係、地下利用と法律、空中・大深度地下、市民参加・市民合意形成など。

品質・プロフェッション部会では、技術成果の質について、ミス防止と品質向上、設計審査の適用。技術者の質について、コンサルタント論、技術者倫理、プロフェッション考、若手技術者の早期育成となっている。

清野理事長は「OBがこれまでの実務経験を話すことなどにより、若い技術者に技術が伝承され、技術力の一層のレベルアップにつなげていきたい」としている。

なお、同会では、建設コンサルタントOBを問わず会員、賛助会員を募集している。ホームページ（<http://www.okkossai.com>）から申込みが可能。